
令和 6 年度 平塚市美術館年報

ANNUAL REPORT of the Hiratsuka Museum of Art 2024

April 2024– March 2025

令和6年度事業報告目次

I 作品管理業務

(1) 収集	1
(2) 保存管理	3
(3) 展示	3
(4) 貸出	4
(5) 美術館資料の特別利用	4

II 展覧会

(1) 企画展 平野杏子展 生きるために描きつづけて	6
(2) 特集展 1950～60年代の日本画－造形への挑戦	7
(3) 企画展 ザ・キャビンカンパニー大絵本美術展〈童堂賛歌〉	8
(4) 特集展 つながるコレクション＋新収蔵品展	11
(5) 企画展 大正・昭和のモダニスト 落谷虹児展	13
(6) 特集展 おしゃべり美術館 ひらびあ一つま〜れ10年記念展	15
(7) 特集展 ロビー展 中勘助の小宇宙－「銀の匙」と「しづかな流」	17
(8) 特集展 ロビー展 古井彩夏展 熱を与えた鉄とステンレス	19

III 教育普及

(1) 一般・子ども向けプログラム	21
(2) スクールプログラム	23
(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	24
(4) アートカードの貸出	26

IV その他の事業

(1) 事業	27
(2) 団体向け研修・体験プログラム	28
(3) 博物館実習生及び職場体験	28
(4) 定例会議	28
(5) 所蔵作品データベースの公開	29
(6) 紀要の発行	29

V 施設管理

(1) 設備点検	30
----------	----

VI 施設利用者等の統計

(1) 展覧会	30
(2) 貸出施設	31

I 作品管理業務

(1) 収集

2025 年 2 月 14 日（金）美術品選定評価委員会で審議を行い、下記のとおり受け入れました。

寄贈作品

No.	作家	作品名	制作年	作品寸法（cm）	作品材質
01	内田あぐり	地への漂流	1992 年	193.0×781.8	岩絵具、墨、膠、箔、雲肌麻紙
02	北澤映月	好日（大下図）	1942 年	184.0×210.0	墨、淡彩・紙
03	北澤映月	好日	1942 年	186.5×217.2	彩色・紙
04	北澤映月	花（大下図）	1954 年	160.5×112.6	墨、淡彩・紙
05	北澤映月	花	1954 年	163.1×114.7	彩色・紙
06	北澤映月	花の中	1962 年	182.0×197.0	彩色・紙
07	北澤映月	彩華	1983 年	143.6×97.0	彩色・紙
08	北澤映月	緑衣	1948 年	201.2×91.7	彩色・紙
09	北澤映月	紅葉	松園塾時代	137.4×50.8	彩色・絹
10	北澤映月	想（樋口一葉） （大下図）	1973 年	184.0×120.0	墨・紙
11	北澤映月	女人記（大下図）	1972 年	184.0×157.3	墨、淡彩・紙
12	北澤映月	白川学園の児童達（大下図）	1953 年	119.0×153.0	墨・紙
13	北澤映月	文五郎と人形 （大下図）	1946 年	各 144.0×98.0	墨・紙
14	北澤映月	静日（大下図）	1941 年	162.8×228.2	墨、淡彩・紙
15	北澤映月	祇園会（大下図）	1936 年	180.0×227.2	墨、淡彩・紙
16	北澤映月	お市の方と三姉妹（仮称）	不詳	196.2×87.9	彩色・絹
17	本荘赳	晩秋卓上	1943 年頃	66.5×87.5	油彩・紙
18	森田勝	姪章子像	1929-30 年頃	35.0×27.0	油彩・板
19	森田勝	南沢の家	1935 年	15.6×22.7	油彩・板
20	横尾丈夫	丘（道）	1984 年	116.7×80.3	油彩・キャンバス
21	北澤映月	北澤映月資料一式（下図類、スケッチ、手紙、画家の写真、印章）	-	-	-
22	鳥海青児	鳥海青児資料一式	-	-	-

寄託作品

No.	作家	作品名	制作年	作品寸法 (cm)	作品材質
01	麻田辨自	沼	1960 年	166.7×151.6	彩色・紙
02	伊東深水	娘道成寺を踊る 吾妻徳穂	1965 年	178.0×97.0	彩色・紙
03	小野竹喬	残照	1962 年	89.0×138.5	彩色・紙
04	堅山南風	鯉	1956 年	155.0×141.0	彩色・紙
05	加藤栄三	雷神図	1965 年	193.0×142.0	彩色・紙
06	金島桂華	冬田	1953 年	205.4×165.6	彩色・紙
07	鐺木清方	野崎村	1914 年	157.0×95.0	彩色・絹
08	川端龍子	天橋図	1960 年	242.0×145.4	彩色・紙
09	児玉希望	花と銀鷄	1950 年	145.0×121.0	彩色・絹
10	鈴木翠軒	菅原傳授手習鑑	1966 年	95.0×185.0	墨・紙
11	西山英雄	朝映桜島	1965 年	166.7×139.6	彩色・紙
12	浜田観	芙蓉	1965 年	151.2×209.2	彩色・紙
13	東山魁夷	雪原譜	1963 年	157.0×213.0	彩色・紙
14	山口蓬春	花菖蒲	1967 年	61.6×90.8	彩色・紙
15	土橋醇	流れる星 〈黒〉	1965 年	163.0×130.0	油彩、鉄板・キャンバス
16	伊東深水	滝の白糸	1941 年	101.0×115.0	彩色・紙
17	田島なす美	真夏の夜の夢	1971 年	230.0×165.0	彩色・紙
18	染谷祐通	仁和寺門	1978 年	210.0×170.0	彩色・布
19	御正伸	大宰府抄	1974 年	180.5×226.0	油彩・キャンバス
20	中島清之	足摺	1971 年	194.5×150.0	彩色・紙
21	加藤晨明	白い服	1971 年	161.0×110.0	彩色・紙
22	森田曠平	ひらかな盛衰記(笹引の段)	1989 年	149.0×264.0	彩色・紙
23	奥村土牛	文楽(去年の秋)	1978 年	42.0×31.0	鉛筆、色鉛筆・紙
24	森田曠平	小さん師匠像	1992 年	90.0×64.0	彩色・紙
25	森田曠平	老妓	1993 年	91.0×65.0	彩色・紙
26	桑田笹舟	千本桜道行	1977 年	168.5×89.5	墨・絹
27	高山辰雄	水辺の家	1988 年	66.4×52.8	彩色・紙
28	奥田元宋	紅嶽秀耀	1988 年	73.6×63.0	彩色・絹
29	北澤映月	待月	1939 年頃	170.0×200.0	彩色・紙

(2) 保存管理

- 屋外設置の彫刻 9 点について酸性雨水による腐食防止処置等を、絵画作品 3 点について保存修復処置を施しました。

No.	作家	作品名	作品種別	修復工房
1	保田春彦	赤錆の幕舎	彫刻	ブロンズスタジオ
2	柳原義達	座る女	彫刻	ブロンズスタジオ
3	佐藤忠良	緑	彫刻	ブロンズスタジオ
4	舟越保武	海の顕彰碑―渚―	彫刻	ブロンズスタジオ
5	淀井敏夫	海	彫刻	ブロンズスタジオ
6	リヴェラ, ホセ・デ	コンストラクション #115	彫刻	ブロンズスタジオ
7	湯原和夫	意味の自由区 No. 4-88	彫刻	ブロンズスタジオ
8	小田薫	記憶の在り処	彫刻	ブロンズスタジオ
9	樋口健彦	大黒玉	彫刻	ブロンズスタジオ
10	北澤映月	羅 (大下図)	資料	増田絵画修復工房
11	北澤映月	緑衣 (大下図)	資料	鶴見修復工房
12	北澤映月	待月 (大下図)	資料	鶴見修復工房

● 収蔵庫虫害調査

(公財) 文化財虫菌害研究所に生物被害調査を依頼し、虫害調査は目視調査とトラップによる調査、カビ調査は目視調査をそれぞれ実施しました。

調査期間：7 月 23 日 (火) ～8 月 20 日 (火)

調査場所：収蔵庫Ⅰ、収蔵庫Ⅱ、特別収蔵庫、写真室

(3) 展示

当館展覧会において下表のとおり、1143 点の作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品 点数	うち所蔵 ・寄託	うち 借用
1	企画展	平野杏子展 生きるために描きつづけて	67 点	18 点	49 点
2	特集展	1950～60 年代の日本画―造形への挑戦	44 点	44 点	0 点
3	企画展	ザ・キャビンカンパニー大絵本美術展〈童堂賛歌〉	416 点	0 点	416 点
4	特集展	つながるコレクション+新収蔵品展	76 点	66 点	10 点
5	企画展	大正・昭和のモダニスト 露谷虹児展	455 点	0 点	455 点
6	特集展	おしゃべり美術館 ひらびあ一つま〜れ 10 年記念展	30 点	27 点	3 点
7	特別展	中勘助平塚居住 100 年記念 中勘助の小宇宙―「銀の匙」と「しづかな流」	27 点	0 点	27 点
8	特別展	古井彩夏展 熱を与えた鉄とステンレス	28 点	0 点	28 点
計			1143 点	155 点	988 点

(4) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表のとおり 63 点の作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	横須賀美術館	驚異の細密表現展 江戸・明治の工芸から現代アートまで 4月20日～6月23日	4点	椿貞雄「菊子像」木下晋「休息」木下晋「鮭」木下晋「祈りの塔」
2	浜松市秋野不矩美術館	内田あぐり 汜 Fluxes 4月27日～6月23日	1点	内田あぐり「わたしの前にいる、目を閉じている」
3	千葉市美術館	岡本秋暉 百花百鳥に挑んだ江戸の絵師 -摘水軒コレクションを中心に 6月28日～8月25日	20点	岡本秋暉「孔雀図」「波に鯉取図」「鯉鳥図」「老松孔雀図」「松に鷹図」「孔雀図」「名花双禽図」「孔雀図」「芙蓉遊鴨図」「群鷺図」「金鶏図」「母子鶴図」「十二ヶ月花鳥図」「十二ヶ月花鳥図」「海棠に禽鳥図」「月下双鹿図」「春秋花鳥図」「四季花鳥図」「蝶に孔雀図」「松に飛鶴図」
4	町立湯河原美術館	高良眞木 まなざしの奥に 9月27日～12月16日	36点	高良眞木「日月」「丘の径 百日草」「塀」「葉鶏頭」「ひまわりの咲く風景」「青年・キンセンカ」「ヒメジヨンの咲く風景」「少女」「三本の木」「ひまわり」「草・大地」「自画像」「平らなみかん畑」「樹」「恵子十八才」「ざくろ・五つ」「風景・水田のある」「丘の畑」「無題（絶筆）」「向日葵」「山百合」「白木蓮」「桜、夕景」「桜」「むかしばら」、スケッチブック 02、04、10、21、23、24、29、31、38、43、47
5	東京都美術館	上野アーティストプロジェクト 2024 ノスタルジアー記憶のなかの景色 11月16日～1月8日	2点	宮いつき「双子座」久野和洋「地の風景・雨あがる」
計			63点	

(5) 美術館資料の特別利用

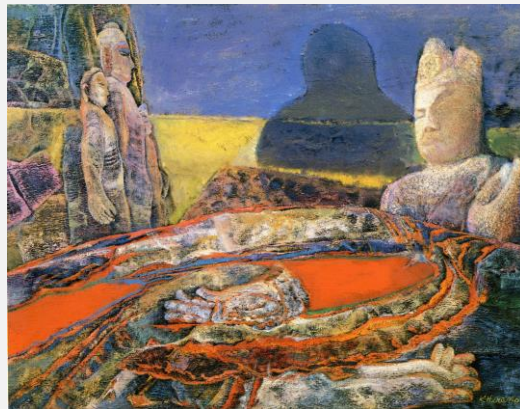
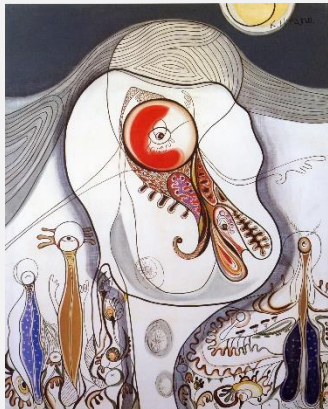
No.	作家	作品名	使用目的	申請者
1	海老原喜之助	曲馬	『幻想美術館』（太田治子著）画像掲載	（株）かまくら春秋社
2	石田徹也	コンビニエンスストアの母子像	『アートコレクターズ』7月号画像掲載	生活の友社
3	小林保祥	高砂族の生活	展覧会の調査	国立台北教育大学北師美術館
4	岡本秋暉	白梅孔雀図	「岡本秋暉」展のグッズ制作	千葉市美術館
5	高良眞木	石切り場	「高良眞木」展のパネル制作	町立湯河原美術館
6	鳥海青児	ピカドール、メキシコの西瓜（メキシコ風の西瓜）、アッシジ	『独立ノート』画像掲載	独立美術会

7	中島千波	existence* '16-8-shin(眞)	『中島千波 彩図鑑 V』画像掲載	(株) 求龍堂
8	高良眞木	朱木蓮	「高良眞木」展の冊子の画像掲載	町立湯河原美術館
9	岡本秋暉	白梅孔雀図	「魅惑の滴水軒コレクション展」のグッズ制作	富山県水墨美術館
10	北澤映月	女人己	『再興院 100 回記念 画を結ぶ一院展人物史一』画像掲載	(株) 青幻舎
11	工藤甲人	樹木のうた	IMM (イミグレーションミュージアム) 東京による「アートで文化的多様性を学ぶエデュケーションプログラム」の対話型鑑賞での画像利用	個人
12	小林保祥	高砂族の生活、黒潮の道 2、わが家族と住居、カジャジャラス郷、霊峰 (カボログヌ)、黒潮の道 8 聚落(カジャジャラス郷)、曾長の庭、創生、パリラヤン村の栗をつく人、美しい娘と蛇、黒潮の道 10 霊棚 (ツァカル)、首棚 (タビタビ)、霊蛇ブウロン	修士論文に画像掲載	個人
13	山口蓬春	梅花紅葉	展覧会のパネル制作	山口蓬春記念館
14	椿貞雄	菊子像	TV 番組「開運！なんでも鑑定団」放映	(株) ネクサス
15	岡本秋暉	老松孔雀図	修了制作のための熟覧	個人

Ⅱ 展覧会

(1) 企画展 平野杏子展 生きるために描きつづけて

種 別	企画展
会 期	4月6日(土)～6月9日(日)
主 催	平塚市美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(4月29日、5月6日は開館)、4月30日(火)、5月7日(火)
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	56日
観覧者数	4,911人
担 当	勝山滋(当館館長代理)



平野杏子「輪廻の章Ⅲ」1961年、「南山遙遠」1980年

●内容

平野杏子(ひらのきょうこ、1930年伊勢原生まれ)は、1954年から現在に至る70年間を平塚市で制作活動を行っているゆかり作家です。

現在、女性の活躍推進が社会の課題となっていますが、画家が美術の道を志したのはいまだ女性作家が稀であった時期であり、結婚や育児と制作の両立という課題に向き合いながら画業を切り拓いていきました。また90代となった現在も生き生きと新たな画境を求めて制作する姿勢からは、現代の長寿社会のなかでいかに生きるかわれわれに範を示しているように感じます。

その画業は具象から抽象、平面から立体まで多彩ですが、われわれが太古から慈しみ根を張って祈り生活してきた原初的な風土や歴史がテーマとなっています。あるいは共感する文学が裏打ちとなり、また平塚の出縄でのアトリエで感じた自然や、病いを得て夢に現れたイメージ、仏教的な教えや人々の信仰が表現されています。

さらに韓国・慶州で出会った磨崖仏の拓本は画家の大きな功績であり、また女性作家による美術団体「潮展」での活躍等、洋画壇で大きな役割を担ったほか、地元平塚に目を向ければ総合公園のモニュメント「トキオコシ」の設置に加え、アトリエでは近隣の画家や評論家が集い、その交流は平塚の文化振興の原動力となりました。

本展は平塚ゆかりの作家、平野杏子の集大成となる回顧展であり、その代表作や初公開の作品を含めた67点によりその画業を振り返りました。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

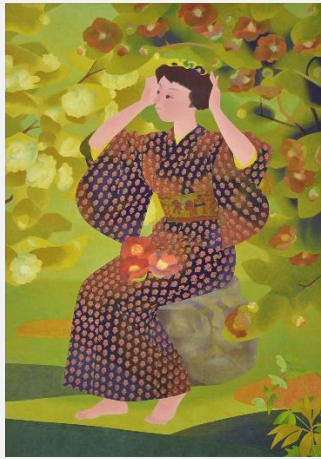
日時：①4月20日(土)、②5月11日(土) 各日14:00～15:00

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者：①30人 ②26人

(2) 特集展 1950～60年代の日本画－造形への挑戦

種 別	特集展
会 期	4月6日(土)～6月2日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00 (入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(4月29日、5月6日は開館)、4月30日(火)、5月7日(火)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	50日
観覧者数	4,415人
担 当	家田奈穂(当館学芸員)



北澤映月《花》1954年、当館寄託



加山又造《紅鶴》1964年、当館寄託【日本芸術文化振興会(国立劇場)蔵】

●内容

戦後まもなく、それまでの伝統的な日本画のあり方に危機感をつのらせた画家たちが、新たな表現を模索するようになりました。1948年には「世界性に立脚する日本絵画の創造を期す」という宣言のもと、「創造美術」(現・創画会)が結成されます。日本画の革新運動は、新興の美術団体のみならず既存の団体を含む日本画壇全体におよび、戦後に台頭してきた若い画家たちを中心に、1950年代から60年代にかけてさまざまな試行錯誤が重ねられました。日本画の伝統に拘泥せず、画壇に新風を吹き込もうとした画家たちが参照したのは、欧米の絵画作品でした。その堅牢な造形や油絵具のもつ力強いマチエール、あるいは当時注目を集めていた抽象表現が取り入れられるなど、「革新」の呼び声のもと、一時代を象徴する作風が生み出されました。結果として日本画は、同時代の洋画の造形に接近することになり、画材こそ違えども、日本画と洋画の造形的な境目があいまいになりました。

本展は、当館の所蔵品の中から創画会、日展、院展で活躍した日本画家を中心とした1950～60年代の作品のほか、同時期に制作された洋画を加えた44点を展示することで、この時期の日本画の造形的な特徴の一端を明らかにしました。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①4月13日(土) ②5月12日(日) 各日14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者①24人 ②28人

(3) 企画展 ザ・キャビンカンパニー 大絵本美術展〈童堂賛歌〉

種 別	企画展
会 期	7月6日(土)～9月1日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00 (入場は 16:30 まで)
特別協賛	株式会社 海地獄、株式会社 タバタホールディングス、株式会社 明治、生活協同組合 コープおおいた
協 賛	神奈川中央交通株式会社
助 成	一般財団法人 地域創造
休 館 日	月曜日 (7月15日、8月12日は開館)、7月16日 (火)、8月13日 (火)
観 覧 料	一般 800 円、高大生 500 円
開催日数	50 日
観覧者数	14,631 人
担 当	安部沙耶香 (当館学芸員)



「童堂賛歌 メインビジュアル」原画 2023 年



ザ・キャビンカンパニー《脳想電撃招馬》
2018 年、作家蔵 撮影：橋本大



作家のポートレート
撮影：橋本大

●内容

2009 年のユニット結成以来、40 冊以上の絵本を出版しているザ・キャビンカンパニー。

『だいおういかのいかたろう』(鈴木出版、2014 年)で日本絵本賞読者賞、『ゆうやけにとけていく』(小学館、2023 年)で第 29 回日本絵本賞大賞と第 71 回産経児童出版文化賞産経新聞社賞を受賞するなど、数々の高い評価を得てきました。その活動は絵本の分野にとどまらず、ダンサー・振付家として国内外で活躍を続ける Co. 山田うんのダンス作品『オバケッタ』の舞台美術(2021 年)や、歌手あいみよんのオファーにより「傷と悪魔と恋をした!」(2021 年)のツアーパンフレットの制作に携わっています。また、NHK (E テレ) の番組「おかあさんといっしょ」での「しりたガエルのけけちゃま」のキャラクターデザインを手がけるなど、目覚ましい活躍をみせています。

展覧会のタイトル〈童堂賛歌〉とは、本展のためにつくられたことばです。「飽きることなく何十回でも何時間でもすべり台で遊び続ける、子どもの時間のとらえ方や感覚に象徴される「童」と、本屋や薬局、駄菓子屋などの店名にも使われるお堂の「堂」＝「万物を受け入れる」という意味が組み合わされています。本展は 7 つのテーマの部屋で構成され、まるで空間が大きな 1 冊の本になったようなしかけが満載です。

関東の公立美術館で初となる本展では、ユニット結成 15 周年を記念して、活動初期から現在までの絵本原画に加え、立体造形、映像作品などを一堂にご紹介しました。ザ・キャビンカンパニーの多様な魅力に満ちた作品を身体全体でお楽しみいただきました。

●関連事業

○ザ・キャビンカンパニーによる絵本の読み語り

日時：7月13日(土) 13:00～13:45

場所：ミュージアムホール

参加者：375 人

○ザ・キャビンカンパニーによるアーティストトーク

日時：7月14日（日）13:00～13:45

場所：ミュージアムホール

参加者：258人

○ザ・キャビンカンパニーのサイン会

日時：①7月13日（土）、②14日（日）、③15日（月・祝）、④28日（日） 各日14:00～15:00

場所：テーマホール ※申込不要、図録もしくは絵本を当館でお買い求めの方に限る

参加者：①188人 ②171人 ③71人 ④139人

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①7月27日（土）、②8月10日（土） 各日14:00～14:40

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者：①23人 ②21人

○図書館ボランティアによるおはなし会

日時：①7月18日（木）、②8月22日（木） 各日11:00～11:30

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者：①23人 ②66人

○ぬりえコーナー

日時：展覧会会期中の9:30～17:00

定員・参加費：なし

場所：テーマホール

○絵本コーナー

日時：展覧会会期中の9:30～17:00

定員・参加費：なし

場所：テーマホール

○「ザ・キャビンカンパニー 大絵本美術展＜童堂讃歌＞」まちなか展示@ひらしん平塚文化芸術ホール

会期：8月2日（金）～22日（木）

休館日：8月19日（月）

会場：ひらしん平塚文化芸術ホール エントランス ギャラリー

協力：ひらしん平塚文化芸術ホール（指定管理者：ひらつか文化パートナーズ）

観覧料：無料

○「ザ・キャビンカンパニー 大絵本美術展＜童堂讃歌＞」まちなか展示@平塚市中央図書館

会期：8月2日（金）～22日（木）

休館日：月曜日（8月12日は開館）、8月13日（火）

会場：平塚市中央図書館 1階エントランスロビー

協力：平塚市中央図書館

観覧料：無料

○「ザ・キャビンカンパニー 大絵本美術展＜童堂讃歌＞」 まちなか展示@サクラ書店ラスカ平塚店
会期：8月2日（金）～22日（木）
休館日：なし
会場：サクラ書店ラスカ平塚店 ショップ内
協力：平塚書店協同組合
観覧料：無料

○保育園児向け展覧会鑑賞ツアー

①柳町保育園

日時：7月23日（火）10:00～10:30（出張授業）

26日（金）10:30～11:30（来館プログラム）

参加者：園児19人、引率者3人

②横内保育園

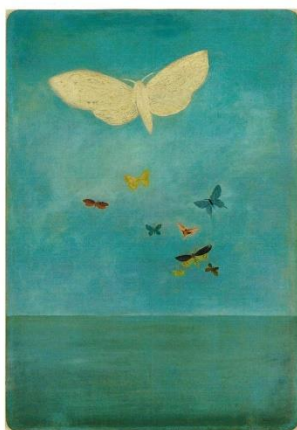
日時：7月25日（木）10:00～10:30（出張授業）

30日（火）10:30～11:30（来館プログラム）

参加者：園児11人、引率者3人

(4) 特集展 つながるコレクション+新収蔵品展

種 別	特集展
会 期	6月8日(土)～9月8日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00 (入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)、8月13日(火)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	80日
観覧者数	10,413人
担 当	勝山滋(当館館長代理)



三岸好太郎《海洋を渡る蝶》1934年、斎藤史門《陸にあがった錨》2014年、村上早《嫉妬—どく—》2020年

●内容

数年来の新型コロナウイルス感染症の流行は、人と人との関係を疎遠にし、人々の生活様式まで変質させてきました。一方、元来われわれの社会や地域は、様々なつながりのなかで成り立ってきました。「人間」という文字が人と人との間と書くように、交流しつながりをもつことは重要であり、改めて今、様々な関係性のなかで現代社会を見つめ直すことが求められていると言えるのではないのでしょうか。

本展と同時開催となる作家、ザ・キャビンカンパニーは「夫婦」というつながりがありますが、収蔵作品を見渡すと「父子」や「師弟」、「仲間」といった作家の関係、さらに「個人・社会」、「人間・自然」、作品どうしの共通点など様々な「つながり」を見出すことができます。こうした切り口に新たな光を当てることで、収蔵作品の新たな魅力を発見し、さらに広くは地域や社会の来し方行く末を考えるよすがとなることを願い展示構成を行いました。

こうした趣旨のもと、33作家、76点の作品を全3章にわけ構成し、その内訳を「1. 自然や人とのつながり」「2. 地域とのつながり」「3. 新収蔵作品展」としました。

1章は、人間と自然のつながりをテーマとし、外出を控えてきたわれわれが戸外に出、解放感と明るい陽光のもと自然に目を向け、新たにその空気感や季節を発見していくような広がりのある作品を紹介し、またSDGsの観点を含め、環境問題をテーマとした作品を展示しました。また、様々な人と人とのつながりをテーマとして、家族を描いた作品、師弟、ともに研鑽する仲間、父子や夫婦といった関係にスポットをあてました。近親者を描き愛情が感じられる作品にはじまり、大磯に住んだ実業家の赤星家の関係者を描いた黒田清輝、安田靉彦の作品、萬鉄五郎のもとで研鑽し湘南の美術を彩った森田勝、原精一、鳥海青児、山下大五郎作品を展示しました。

2章は、地域とのつながりがある作品として、旧市民センターの緞帳として親しまれ、長く本庁舎に掲出されてきた本荘赴「平塚風景」の原画、中央公民館大ホールの緞帳原画である工藤甲人「アンドロメダ」、平塚駅南口に設置された澤田政廣「人魚の像」の原画からはじめ、高良真木「ふしぎなおはなし」の絵本原画、岸田劉生による雑誌「棋道」原画を展示しました。またこのたび姉妹都市を締結したリトアニアとのつながりを紹介するコーナー展示を行い、リトアニア生まれのジョナス・メカスの展示・上映を行いました。

3章では、2023年度に新たに収蔵した作品を展示しました。こうした収蔵作品も、所蔵家と美術館の信頼関係やつながりから収められたもので、市内企業からの寄付金によって購入が叶った村上早作品などもお披露目しました。

●関連事業

○ジョナス・メカス上映会@平塚市美術館

日時：8月25日（日）14:00～15:30

場所：ミュージアムホール

上映作品：「リトアニアへの旅の追憶」1972年、87分、16mmフィルム

協力：ときの忘れもの／メカス日本日記の会／コガタ社

※字幕なし

参加者：45人

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：7月20日（土）14:00～15:00

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者：14人

○担当学芸員によるギャラリートークと中央公民館緞帳見学会

日時：8月17日（土）14:00～15:00

場所・集合：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者：9人

（５）企画展 大正・昭和のモダニスト 落谷虹児展

種 別	企画展
会 期	10月5日（土）～11月24日（日）
主 催	平塚市美術館
特別協力	新発田市・新発田市教育委員会・落谷虹児記念館、弥生美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00（入場は16:30まで）
休 館 日	月曜日（10月14日、11月4日は開館）、10月15日（火）、11月5日（火）
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	44日
観覧者数	6,442人
担 当	家田奈穂（当館学芸員）



《『睡蓮の夢』カバー原画》1924年 落谷虹児記念館、《旅の絵だより 出帆Ⅱ》《『小令女』1-4口絵原画）落谷虹児記念館

●内容

落谷虹児（1898-1979）は、新潟県で生まれ、1913年に日本画家を目指して上京しますが、竹久夢二の紹介で少女雑誌の挿絵を描くようになると、またたく間に時代の寵児となりました。1925年には本格的に絵を学ぶためにパリに留学し、サロン入選や個展の開催により、画家として活動していくことに自信を深めます。しかし、1929年に生活のために志半ばで帰国。その後は再び少女雑誌の仕事を手がけ、1930年代にかけてモダンな女性像により人気の絶頂を迎えました。流行のファッションに身を包み、強い眼差しを持つ女性像は、近代的なライフスタイルにあこがれる多くの女性たちにとって象徴的なアイコンとして機能したといえるでしょう。戦後は、童話や絵本の挿絵のほか、アニメーションの仕事にも取り組み、少女向けの仕事から離れて新たな境地を開拓。晩年は、個展を中心に可憐な少女像を発表して変わらぬ人気を博し、1979年に80歳でその生涯を閉じました。1987年には、幼少期を過ごした新潟県新発田市に記念館がオープンし、現在にいたるまで多くの来館者に愛されています。

本展では、落谷虹児記念館の作品を中心に少女雑誌の表紙や挿絵の原画、パリ時代の作品、童話や絵本の挿絵の原画、アニメーションの原画など455点を一堂に会し、およそ60年におよぶ虹児の画業を回顧しました。大正から昭和戦前にかけて、文化や芸術が大衆のものとして浸透していく過程で、出版界の花形として虹児が果たした役割がいかに大きいものであったかを感じ取っていただくとともに、戦後の児童文化に残した足跡をご堪能いただきました。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①10月19日（土）、②11月2日（土） 各日 14:00～14:40

場所：展示室 I ※申込不要、要観覧券

参加者：①48人、②34人

○蓆谷虹児が構成・原画を担当した短編アニメ「夢見童子」上映

東映動画（現・東映アニメーション）初となるカラーアニメーション。東映動画に招聘された虹児は、詩人であり抒情画家である自身のイメージを前面に打ち出して、「夢見童子」の原画を描き、童謡風の歌を作詞しました。

日時：展覧会会期中の 9:30～16:30 頃

上映時間：1回 15分 28秒（繰り返し上映）

場所：ミュージアムホール ※申込不要、観覧無料。

○関連ワークショップ「単色凸版・版画講座」

講師：城戸宏氏（リン版画工房主宰）

日時：11月17日（日）13:30～15:30

場所：アトリエ B ※事前申込制、詳細は当館ウェブに掲載。

参加者：14人

（６）特集展 「おしゃべり美術館 ひらびあ一つま〜れ 10 年記念展」

種 別	特集展
会 期	9 月 21 日（土）～2025 年 2 月 16 日（日）
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00（入場は 16:30 まで）
休 館 日	月曜日（9 月 23 日、10 月 14 日、11 月 4 日、2025 年 1 月 13 日は開館、翌日休館）、年末年始（12 月 29 日～2025 年 1 月 3 日）
観 覧 料	一般 200 円、高大生 100 円
開催日数	123 日
観覧者数	6,951 人
担 当	江口恒明（当館学芸員）、浅野泰恵子（当館会計年度任用職員）



工藤甲人《樹木のうた》1956 年 当館蔵



伊藤彬《青幻記》1976 年 当館蔵

●内容

平塚市美術館では 2015 年に「対話による美術鑑賞事業」をスタートさせ、市民参加者「ひらびあ一つま〜れ」のメンバーとともに、平塚市内の小学生と学校や美術館で、おもに所蔵作品を用いて美術鑑賞する活動を続けてきました。10 年目をむかえる今年、対話型鑑賞とこれまでの活動を紹介する展覧会を開催しました。

いわゆる対話型の作品鑑賞は、作品のことをよく知る誰かから説明を受けるものではありません。鑑賞する人がじっくりと作品をみて、少人数のグループで一緒に鑑賞する他の人との対話を通じてそれぞれの人が解釈を構成し、目の前の作品の核心とその魅力に迫っていきます。鑑賞する人自身が自分の中に意味や知識を構築していくプロセスととらえる構成主義の学習観にもとづいた鑑賞方法です。

美術に関する知識を必要としない、10 歳前後の子ども対象のプログラムとして考案されたものですが、大人が見慣れた絵をみても、新しい発見をとまったり、解釈を更新することが起こり得ます。イメージそのもの、あるいは表現のもつ力を再認識するとともに、鑑賞といういとなみが一個人の中で完結するものではなく、一続きのつながりとして社会に開かれていることにも気づかされます。

そのような特徴をもつ対話型美術鑑賞を続けてきた「ひらびあ一つま〜れ」の活動を紹介するため、本展では事業の中で用いてきた所蔵作品を中心に 30 点を選び、対話のきっかけとなるよう 5 つのテーマに分けて展示します。また、平塚市内の小学生と地域の方々に支えられた活動であることから、あわせてこの中に湘南にゆかりのある他館所蔵の作品も展示しました。

本展の特色に鑑み、展示室で作品に関して自由にお話しできる「おしゃべり OK」の展覧会とし、観覧する人がそれぞれに鑑賞をお楽しみいただけるように工夫しました。

●関連事業

○シンポジウム「子どもの目の美術鑑賞―地域の美術館と学校でうまれる学び」

日時：11月30日（土）13:00～15:30

場所：ミュージアムホール ※申込不要・先着順

内容：1）基調講演「共同性と縁起が生み出す創造性」

講師：奥村高明氏（日本体育大学特別研究員）

美術教育を長年研究してきた奥村氏に学校教育における美術鑑賞の重要性についてご講演いただきました。

2）対談「学校教育と美術館の連携」

学校関係者、アート NPO、美術館スタッフなどと、地域の美術館における鑑賞の意義、これまでの活動の成果と今後の展望について対談しました。

参加者：68人

○鑑賞会「おしゃべり美術館にあ一つま〜れ」

日時：10月5日（土）、11月30日（土）、12月21日（土）、2025年1月18日（土）

11:00～／14:00～ （各回40分程度）

場所：展示室Ⅱ ※要申込・要観覧券

内容：ひらびあ一つま〜れのメンバーによる対話型の鑑賞会。

※11月30日（土）は11:00の回のみ実施。

参加者：計143人

(7) 特集展 ロビー展 中勘助平塚居住 100 年記念
中勘助の小宇宙－「銀の匙」と「しづかな流」

種 別	特集展
会 期	10 月 5 日 (土)～11 月 10 日 (日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00
休 館 日	月曜日 (10 月 14 日、11 月 4 日は開館)、10 月 15 日 (火)、11 月 5 日 (火)
観 覧 料	無料
開催日数	32 日
観覧者数	3,695 人
担 当	鈴木美有 (当館学芸員)



左から中勘助肖像写真：40 代 (岩波書店蔵)、中勘助『銀の匙』岩波書店 1926 年刊行 (個人蔵)、
絵葉書 相州平塚町海岸第一道路より海をのぞむ (平塚市博物館蔵)

●内容

2024 年は作家・中勘助 (1885-1965) が平塚に居住して 100 年となります。この節目となる年にあたり〈中勘助平塚居住 100 年記念 中勘助の小宇宙 (ミクロコスモス)－「銀の匙」と「しづかな流」〉と題し、ロビー展を開催しました。

中勘助は東京神田に生まれ、第一高等学校を卒業後、東京帝国大学英文科に入学 (のちに国文学科へ転じ卒業)。両校で夏目漱石 (1867-1916) の教えを受けました。作家デビュー作となった「銀の匙」は、病弱だった幼いころの思い出や身近な人々との交流を描いた自伝風の小説で、漱石の強い推薦によって東京朝日新聞に連載され、勘助の代表作となりました。

その後も、執筆を続けながら旅行や知人宅への仮寓など約 10 年の単身生活を経て、1924 年に平塚町西海岸 (現・平塚市龍城ヶ丘) に家建て、約 8 年間暮らしました。当時の平塚での生活を綴った日記体の作品「しづかな流」では、勘助の日々の暮らしと平塚の豊かな自然が捉えられています。

そして、平塚時代の 2 年目にあたる 1926 年、およそ 6 年以上の長期連載となる雑誌『思想』での「しづかな流」の連載が始まり、まさに同年、上製本『銀の匙』の初版が岩波書店より単行本として刊行されました。この 2 つの作品の関連資料から、勘助のこだわりと平塚での作家活動の一端を垣間見ることができます。

本展では中勘助という作家の繊細な感受性が捉えた、日常のひとこまひとこまによって紡がれる〈小宇宙〉ともいふべき世界を感じていただくために、「銀の匙」と「しづかな流」の関連資料を作家の言葉とともにご紹介しました。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①10月12日（土）、②11月3日（土） 各日 14:00～14:40

場所：エントランスホール、テーマホール ※申込不要、参加無料

参加者：①8人 ②18人

○中勘助 平塚居住 100 年記念 記念講演会&コンサート「中勘助の平塚時代」

日時：11月9日（土） 13:30～15:30（開場 13:00）

場所：ミュージアムホール ※申込不要、定員 150 名

主催：中勘助を知る会

共催：平塚市美術館

参加者：150 人

(8) 特集展 ロビー展 古井彩夏展 熱を与えた鉄とステンレス

種 別	特集展
会 期	12月7日(土)～2025年4月6日(日)
主 催	平塚市美術館
助 成	公益財団法人河野文化財団・公益財団法人朝日新聞文化財団
開館時間	9:30～17:00
休 館 日	月曜日(1月13日、2月24日は開館、翌日休館)、年末年始(12月29日～1月3日)
観 覧 料	無料
開催日数	99日
観覧者数	9,778人
担 当	勝山滋(当館館長代理)



《jet》2012年、《ベアリング》2022年

●内容

2024年度平塚市美術館ロビー展として「古井彩夏展 熱を与えた鉄とステンレス」を開催しました。

彫刻家・古井彩夏(ふるいあやか)は1988年東京生まれ。2009年、女子美術大学在学中に鉄を素材とした作品の制作をはじめ、2011年、同校の立体アート学科卒業に際し、卒業制作が女子美術大学美術館賞を受賞。同年神奈川県展において大賞を受賞。2013年同大学院を修了ののち、各地での個展のほか内外のグループ展に参加。このほか東京都内各所に野外彫刻を制作、設置するなど活躍。現在、日本大学芸術学部助教。

古井作品は鉄を素材とするほか、近作ではステンレスを素材として細いステンレス板を切り取り、その切断面を高熱で焼き、生じたゆがみが生み出す軽やかな曲線に注目した伸びやかな造形を示しています。

ロビー展は、陽光のそそぐ広いテーマホールを舞台として観覧無料で開催される冬から春にかけての展覧会であり、若手作家の登竜門として今回で18回目を数えます。

公立美術館初の個展となる本展では、作家の新作、各地に設置された野外彫刻の写真資料を含めた28点によってその世界観を紹介しました。

●関連事業

○アーティストトーク

講師：古井彩夏氏（彫刻家）

日時：12月7日（土）14:00～14:30 参加者 23人

2025年2月23日（日）14:00～14:30 参加者 42人

場所：テーマホール ※申込不要

○ワークショップ

講師：古井彩夏（彫刻家）

場所：アトリエB ※事前申込制、詳細は当館ウェブに記載。

○「ながーい紙テープを作って工作しよう」

日時：12月15日（日）

対象：5歳～一般

参加者：午前14人、午後14人

○「ステンレスを曲げて磨いてバングルを作ろう」

日時：2025年3月22日（土）

対象：6年生～一般

参加者：24人

Ⅲ 教育普及

令和6年度実施プログラム

(1) 一般・子ども向けプログラム

アトリエでのワークショップを中心に、乳児から一般まで幅広い年齢層の方を対象とした教育プログラムを実施しました。

39 プログラムを実施 参加人数：970 人

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)

岡本牧葉(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	体験アートセラピー 親子でパステルワーク ～笑顔のカードを作ろう～	福山恵美子(アートセラピスト)	4月29日 (月・祝)	1組 500円	親子(小・中学生)	9組18人
2	赤ちゃんアート5月	富田めぐみ※	5月24日 (金)	500円	親子(1～2歳)	14組28人
3	バックヤードツアー 2024 美術館調査ツアー	当館学芸員	5月25日(土)	無料	小学校4～6年生	12人
4	キッズアート6月	富田めぐみ※	6月12日(水)	500円	親子(2～4歳)	14組32人
5	染色講座	山田麻緒(染色作家)	6月22日(土) 6月29日(土)	1,500円	中学生～一般	17人
6	赤ちゃんアート7月	富田めぐみ※	7月2日(火)	500円	親子(1～2歳)	13組26人
7	スキマってどんなかたち？①	對木裕里(彫刻家)	8月3日(土)	300円	子ども～一般	11人
8	色のカケラでオリジナルチャームをつくろう！①	渡辺望(美術作家)	8月3日(土)	300円	子ども～一般	24人
9	ビー玉絞り染め①	中高生ボランティア	8月3日(土)	無料	子ども～一般	40人
10	フライヤー・ミニノート①	中高生ボランティア	8月3日(土)	無料	子ども～一般	37人
11	学校でも、おうちでも、おしゃべり美術館 であそぼ！①	ひらびあーつま～れ(鑑賞ボランティア)	8月3日(土)	無料	子ども～一般	41人
12	美術作家が描いた絵本 のおはなし会	平塚市中央図書館おはなし会ボランティア	8月3日(土)	無料	子ども～一般	12人

13	スキマってどんなかたち？②	對木裕里(彫刻家)	8月4日(日)	300円	子ども～一般	25人
14	色のカケラでオリジナルチャームをつくろう！②	渡辺望(美術作家)	8月4日(日)	300円	子ども～一般	22人
15	ビー玉絞り染め②	中高生ボランティア	8月4日(日)	無料	子ども～一般	43人
16	フライヤー・ミニノート②	中高生ボランティア	8月4日(日)	無料	子ども～一般	40人
17	海のいきものみつけたよ！①	hoppe(造形教室主宰)	8月4日(日)	500円	親子(3～6歳)	9組18人
18	海のいきものみつけたよ！②	hoppe(造形教室主宰)	8月4日(日)	500円	親子(3～6歳)	12組27人
19	学校でも、おうちでも、おしゃべり美術館であそぼ！②	ひらびあーつま～れ(鑑賞ボランティア)	8月4日(日)	無料	子ども～一般	60人
20	キッズアート8月	富田めぐみ※	8月22日(木)	500円	親子(2～4歳)	12組27人
21	赤ちゃんアート9月	富田めぐみ※	9月6日(金)	500円	親子(1～2歳)	13組27人
22	おれんじアート コラージュをつくって脳をいきいきと！	福山恵美子(アートセラピスト)	9月25日(水)	200円	認知症当事者・介護者	18人
23	東海大学協働事業 木炭基礎デッサン教室	東海大学教養学部教員	10月13日(日)	500円	中学生～一般	13人
24	キッズアート10月	富田めぐみ※	10月25日(金)	500円	親子(2～4歳)	14組30人
25	ちいさなどうぶつえん	hoppe(造形教室主宰)	11月3日(日・祝)	500円	親子(4～6歳)	10組23人
26	蒔谷虹児展関連版画ワークショップ単色凸版・紙版画講座	城戸宏(版画工房主宰)	11月17日(日)	700円	小学4年生～一般	14人
27	赤ちゃんアート11月	富田めぐみ※	11月26日(火)	500円	親子(1～2歳)	13組26人
28	キッズアート12月	富田めぐみ※	12月6日(金)	500円	親子(2～4歳)	13組27人
29	古井彩夏展ワークショップ①ながい紙テープを作って工作しよう午前	古井彩夏(彫刻家)	12月15日(日)	500円	5歳～一般	10組20人

30	古井彩夏展ワークショップ①ながい紙テープを作って工作しよう 午後	古井彩夏(彫刻家)	12月15日(日)	500円	小学生～一般	12人
31	版画ワークショップ・エッチング技法で作る多版多色刷り講座	城戸宏(版画工房主宰)	1月12日(日) 1月19日(日)	3,000円	小学4年生～一般	9人
32	赤ちゃんアート1月	富田めぐみ※	1月17日(金)	500円	親子(1～2歳)	17組36人
33	キッズアート2月	富田めぐみ※	2月18日(火)	500円	親子(2～4歳)	11組25人
34	バックヤードツアー・虫やカビから美術品を守る 午前	当館学芸員	2月24日(月・祝)	無料	中学生～一般	14人
35	バックヤードツアー・虫やカビから美術品を守る 午後	当館学芸員	2月24日(月・祝)	無料	中学生～一般	8人
36	お花畑をつくろう～スタンプあそび	hoppe(造形教室主宰)	3月2日(日)	500円	親子(2～3歳)	13組31人
37	赤ちゃんアート3月	富田めぐみ※	3月14日(金)	500円	親子(1～2歳)	14組32人
38	陶芸講座・お抹茶碗をつくろう	伴健太郎(陶磁器工房器楽主宰)	3月16日(日) 3月30日(日)	1,500円	中学生～一般	24人
39	古井彩夏展ワークショップ② ステンレスを磨いて曲げてバングルを作ろう!	古井彩夏(彫刻家)	3月22日(土)	1,500円	中学生～一般	21人

※NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

※7番から19番までのワークショップは、8月3日(土)、4日(日)に実施した夏のワークショップイベント「美術館であそぼ」のプログラムです。

(2) スクールプログラム

美術館と学校との連携を進め、美術教育や相互交流の場となるよう、教員や児童・生徒を対象としたスクールプログラムを実施しました。

児童・生徒向けプログラム 19プログラムを実施 参加人数：906人

教員向けプログラム 2プログラムを実施 参加人数：34人

担当：江口恒明(当館学芸員), 浅野泰恵子(当館会計年度任用職員), 道下佳子(当館会計年度任用職員)
岡本牧葉(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	小田原市立千代小学校団体来館	当館学芸員	6月4日(火)	児童と引率者	96人
2	子ども教育相談センター教育支援室くすのき プラバンプレスレット制作	当館学芸員	6月7日(金)	通室生と引率者	7人
3	鎌倉市立玉縄小学校 美術館鑑賞体験	当館学芸員	6月19日(水)	5年生と引率者	93人

4	横浜市立本宿小学校団体来館	当館学芸員	7月17日(水)	5年生と引率者	108人
5	藤沢市立高倉中学校団体来館	当館学芸員	7月24日(水)	1～3年生と引率者	22人
6	教員向け対話による美術鑑賞体験会	当館学芸員	7月25日(木)	小・中・高・特別支援学校の教職員	9人
7	横浜市立樽町中学校団体来館	当館学芸員	7月26日(金)	1～3年生と引率者	14人
8	平塚市立横内中学校団体来館	当館学芸員	7月31日(水)	1～3年生と引率者	14人
9	中高校生のワークショップボランティア	当館学芸員	8月1日(木) 8月3日(土) 8月4日(日)	中高生	10人
10	大磯中学校美術部団体来館	当館学芸員	8月6日(火)	1～3年生と引率者	12人
11	教員向け染色実技講座	山田麻緒氏(染色作家)	8月9日(金)	小・中・高・特別支援学校の教職員	25人
12	日本女子大学 博物館実習生の見学実習	当館学芸員	8月20日(火)	大学生と引率者	15人
13	平塚市立真土小学校団体来館	当館学芸員	10月9日(水)	2年生と引率者	112人
14	神奈川県立平塚支援学校団体来館	当館学芸員	11月1日(金)	児童と引率者	7人
15	平塚市立大野小学校団体来館	当館学芸員	11月15日(金)	2年生と引率者	116人
16	小田原市立足柄小学校団体来館	当館学芸員	11月21日(木)	4年生と引率者	66人
17	松田町立寄小学校団体来館	当館学芸員 ひらびあーつまーれ	12月3日(火)	5年生と引率者	7人
18	二宮町立山西小学校団体来館	当館学芸員	12月3日(火)	5年生と引率者	63人
19	神奈川県立えびな支援学校団体来館	当館学芸員	12月10日(火)	3年生と引率者	43人
20	茅ヶ崎市立浜之郷小学校団体来館	当館学芸員	12月19日(木)	5年生と引率者	87人
21	二宮中学校団体来館	当館学芸員	2月12日(水)	1～3年生と引率者	14人

(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

●市内小学校を対象とした対話による美術鑑賞授業を実施しました。

令和6年4月に希望校を募集し、依頼を受けて実施しました。

7校(12学年28クラス)で実施 参加人数：822人

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)、岡本牧葉(当館会計年度任用職員)

NO	学校名	準備日	学校実施日 (事前授業日)	来館授業日	学年	クラス数	参加人数
1	勝原小学校	6月5日(水)	6月14日(金)	—	5年生	2クラス	61人
2	勝原小学校	6月5日(水)	6月26日(水)	—	4年生	2クラス	64人
3	松原小学校	9月20日(金)	9月26日(木)	10月3日(木)	4年生	2クラス	57人
4	金目小学校	11月7日(木)	11月12日(火)	—	4年生	2クラス	47人

5	八幡小学校	11月13日(水)	11月20日(水)	—	5年生	2クラス	61人
6	八幡小学校	11月13日(水)	11月21日(木)	—	6年生	2クラス	59人
7	富士見小学校	11月22日(金)	11月27日(水) 11月28日(木)	12月4日(水) 12月5日(木)	6年生	4クラス	124人
8	富士見小学校	12月5日(木)	12月11日(水) 12月12日(木)	12月18日(水)	2年生	3クラス	99人
9	松延小学校	1月8日(水)	1月15日(水)	2月6日(木)	6年生	2クラス	67人
10	相模小学校	1月16日(木)	1月23日(木)	—	6年生	2クラス	38人
11	相模小学校	1月16日(木)	1月24日(金)	—	5年生	2クラス	43人
12	富士見小学校	1月22日(水)	1月30日(木) 1月31日(金)	2月7日(金)	4年生	3クラス	102人

事前授業のみの授業も実施しました。

授業の実施はひらびあ一つま〜れのメンバーが担当しています。

●特集展「おしゃべり美術館 ひらびあ一つま〜れ 10 年記念展」の関連事業として、一般来館者を対象に対話による美術鑑賞会を実施しました。

1 プログラム(計 7 回)を実施 参加人数：143 人

NO	鑑賞会名	講師	実施日	参加人数
1	おしゃべり美術館にあ一つま〜れ 午前	ひらびあ一つま〜れ	10月5日(土)	19人
2	おしゃべり美術館にあ一つま〜れ 午後	ひらびあ一つま〜れ	10月5日(土)	14人
3	おしゃべり美術館にあ一つま〜れ	ひらびあ一つま〜れ	11月30日(土)	25人
4	おしゃべり美術館にあ一つま〜れ 午前	ひらびあ一つま〜れ	12月21日(土)	18人
5	おしゃべり美術館にあ一つま〜れ 午後	ひらびあ一つま〜れ	12月21日(土)	15人
6	おしゃべり美術館にあ一つま〜れ 午前	ひらびあ一つま〜れ	1月18日(土)	23人
7	おしゃべり美術館にあ一つま〜れ 午後	ひらびあ一つま〜れ	1月18日(土)	29人

●ボランティア育成のための研修等を実施しました。

対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあ一つま〜れ)9期生の育成及び新規加入の10期生12名の育成を実施しました。また、10期生募集のための体験会、ボランティア同士の交流やミーティングを目的としたひらびcaféを実施しました。

42 プログラムを実施 参加人数：467 人

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
1	9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	4月10日(水)	15人
2	ひらびCafé	当館学芸員	4月18日(木)	12人
3	自主研修	当館学芸員	4月23日(火)	8人
4	教員向け鑑賞体験・おしゃべり美術館展ミーティング	当館学芸員	4月26日(金)	15人
5	9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	5月10日(金)	18人
6	自主研修	当館学芸員	5月17日(金)	13人
7	自主研修	当館学芸員	5月21日(火)	16人
8	自主研修	当館学芸員	5月29日(水)	7人
9	9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	6月1日(土)	14人
10	おしゃべり美術館展ミーティング	当館学芸員	6月5日(水)	13人
11	自主研修	当館学芸員	6月8日(土)	13人
12	ひらびCafé	当館学芸員	6月18日(火)	7人
13	自主研修	当館学芸員	6月19日(水)	3人

14	おしゃべり美術館展ミーティング	当館学芸員	6月28日(水)	11人
15	美術館であそぼミーティング	当館学芸員	7月6日(土)	11人
16	美術館であそぼ・教員向け鑑賞体験ミーティング	当館学芸員	7月11日(木)	9人
17	自主研修	当館学芸員	7月12日(金)	12人
18	美術館であそぼ・教員向け鑑賞体験ミーティング	当館学芸員	7月18日(木)	13人
19	1-9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	7月19日(土)	16人
20	おしゃべり美術館展ミーティング	当館学芸員	8月15日(木)	8人
21	アートカード研修	桑原和美(ARDA)	8月21日(水)	17人
22	おしゃべり美術館展展示物制作	当館学芸員	9月5日(木)	12人
23	おしゃべり美術館展ミーティング	当館学芸員	9月12日(木)	4人
24	おしゃべり美術館展展示物制作	当館学芸員	9月13日(金)	13人
25	おしゃべり美術館展ミーティング	当館学芸員	9月20日(金)	14人
26	1-9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	9月27日(金)	14人
27	アートカード研修	桑原和美(ARDA)	10月12日(土)	14人
28	10期募集チラシ仕分け	当館学芸員	10月24日(木)	2人
29	1-9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	10月26日(土)	14人
30	体験会ミーティング	当館学芸員	11月7日(木)	5人
31	自主研修	当館学芸員	11月14日(木)	2人
32	10期募集活動体験会①	当館学芸員	11月14日(木)	7人
33	自主研修	当館学芸員	12月6日(金)	6人
34	アートカード研修	桑原和美(ARDA)	12月7日(土)	9人
35	10期募集活動体験会②	当館学芸員	12月10日(火)	9人
36	1-9期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	12月14日(土)	14人
37	基礎研修①	三ツ木紀英(ARDA)	2月8日(土)	12人
38	ひらびーcafe	当館学芸員	2月13日(木)	11人
39	基礎研修②	三ツ木紀英(ARDA)	2月15日(土)	13人
40	10期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	3月1日(土)	13人
41	年間振り返り	当館学芸員	3月8日(土)	14人
42	10期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	3月15日(土)	14人

(4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行いました。

貸出実績：2 件

IV その他の事業

(1) 事業

●絵本作家たてのひろし公開制作 絵本の生まれる瞬間を見よ！



日時：令和7年1月23日（木）～1月31日（金）10時00分～15時00分

（12時00分～13時00分は休憩時間）

主催：平塚市美術館

内容： 絵本作家のたてのひろしさんが、福音館書店から6月に刊行を予定している絵本『すずめばち』の原画を公開制作するイベントです。実施風景のドキュメンタリー映像を映像作家の山本草介さんが撮影しました。

たてのさんの絵本を手にとって読むことができるスペースや、一緒にすずめばちの絵を描くことのできるスペースも設置しました。

たてのさんの絵本『ぎふちょう』（偕成社刊）などの原画や『すずめばち』のためのラフスケッチや標本などの展示も行いました。

場所：テーマホール

参加者数：1975人

●ミュージアムコンサート

美術館により親しんでいただくため、「ミュージアムコンサート 2025～情景をうつしだす、弦楽トリオ～」と題したコンサートを開催しました。

日時：令和7年2月11日（祝・火）14時00分～15時00分

場所：テーマホール

内容：江藤有希トリオ（ヴァイオリン奏者 江藤有希氏、チェロ奏者 橋本歩氏、ギター奏者 笹子重治氏）の演奏を楽しんでいただきました。

参加者数：約160人



●第 47 回平塚市展

会 期：令和 7 年 3 月 2 日（日）～3 月 16 日（日）

主 催：平塚市展委員会

協 力：平塚書道協会、平塚美術家協会、平塚写真連盟

来場者数：3,210 人（延べ人数）

（2）団体向け研修・体験プログラム

来館時に、開催中の展覧会の観覧に際しレクチャーを実施しました。

12 プログラムを実施 参加者数：438 人

NO	団体名	実施日	参加者数 (人)
1	國學院大學	6 月 1 日（土）	32
2	藤沢・寒川小学校研究会	7 月 23 日（火）	32
3	サン・キッズ湘南学童保育室	7 月 24 日（水）	26
4	ファミリーキッズ平塚	7 月 26 日（金）	20
5	GATE（放課後デイ）	7 月 25 日（木）	14
6	ファミリーキッズ伊勢原	7 月 31 日（水）	14
7	平塚市工業懇話会	10 月 24 日（木）	25
8	いわき市立美術館友の会	10 月 27 日（日）	24
9	世田谷美術館友の会	11 月 7 日（木）	47
10	平塚法人会	11 月 20 日（水）	15
11	県公立中学校教育研究会美術部会	11 月 20 日（水）	150
12	友好都市高山市民ツアー	11 月 27 日（水）	39

（3）博物館実習生及び職場体験

●博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生 9 人を受け入れ、6 月から 12 月まで実習を実施しました。

●中学生職場体験及び高校生等の受け入れ。

美術館の仕事を実際に体験することで、社会性・勤労観やマナーを身に付け、将来の職業選につながるよう、市内中学校 5 校 24 人を対象に美術館の概要講義や業務体験を実施しました。

また、市外高校 1 校 1 人のインターンシップを実施しました。

（4）定例会議

●美術館協議会

○委員（敬称略）8 人 吉村維元（学識経験者）、靱山昌夫（学識経験者）、獅々倉聡（学校教育関係者）、木村一彦（学校教育関係者）、勢山真理子（学校教育関係者）、鈴木憲子（社会教育関係者）、高橋孝祥（社会教育関係者）、上原幸枝（家庭教育の向上に資する活動を行う者）

○開催日/議題 第 1 回 令和 6 年 8 月 27 日（火）

／令和 6 年度上半期事業報告及び下半期の事業計画について

第 2 回 令和 7 年 3 月 14 日（金）

／令和 6 年度事業報告及び令和 7 年度の事業計画について

●美術品選定評価委員会

○委員(敬称略) 5 人 柏木智雄(学識経験者)、猿渡紀代子(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、長門佐季(学識経験者)、橋本善八(学識経験者)

○開催日： 令和 7 年 2 月 14 日(金)

(5)所蔵作品データベースの公開

公開している情報は作家名、作品名、制作年、材質技法、寸法、寄贈者、作品画像等です。

新収蔵作品の文字データ 22 件と、大野廣子、ミニオ＝パルウエルロ 保田, シルヴィア、保田春彦作品等 204 点の画像を公開しました。

日本語サイト：<https://jmapps.ne.jp/hiratukabi/>

英語サイト：https://jmapps.ne.jp/hiratukabi_en/

(6)紀要の発行

8 月 1 日(木)に『平塚市美術館紀要』第 1 号をホームページ上に掲載しました。

V 施設の管理

(1) 設備点検

専門業者による定期点検のほか、施設内の点検・整備等を委託業者とともに随時行いました。

VI 施設利用者等の統計

※以下、単位を省略します。

(1) 展覧会

●開館日数、観覧者数

	R6 年度				R5 年度				R4 年度			
月	開館日数	企画展	特集展	合計	開館日数	企画展	特集展	合計	開館日数	企画展	特集展	合計
4 月	25	1,408	1,502	2,910	26	1,641	1,521	3,162	26	3,551	1,801	3,551
5 月	27	2,286	2,555	4,841	26	3,069	2,667	5,736	26	5,864	5,630	11,494
6 月	26	1,217	1,382	2,599	26	2,214	736	2,950	26	3,529	1,894	3,529
7 月	26	5,320	3,306	8,626	26	4,752	4,136	8,888	26	2,262	2,830	5,092
8 月	27	8,718	5,356	14,074	27	7,986	6,286	14,272	27	3,435	3,776	7,211
9 月	25	593	1,003	1,596	26	3,236	1,409	4,645	26	1,551	1,805	3,356
10 月	27	2,269	4,132	6,401	26	1,470	1,868	3,338	26	1,367	192	1,559
11 月	26	4,173	3,778	7,951	26	2,663	2,813	5,476	26	2,683	2,737	5,420
12 月	24	－	1,502	1,502	24	－	1,506	1,506	24	－	1,573	1,573
1 月	24	－	3,224	3,224	24	－	2,838	2,838	24	－	2,614	2,614
2 月	24	－	2,440	2,440	25	－	4,171	4,171	25	－	3,976	3,976
3 月	26	－	4,514	4,514	27	－	5,358	5,358	27	－	4,683	4,683
4 月	6	－	558	558	7	－	588	588	7	－	570	570
計	313	25,984	35,252	61,236	316	27,031	35,897	62,928	316	20,547	28,828	49,375

●学校観覧

		R6 年度						R5 年度						R4 年度					
		企画展			特集展			企画展			特集展			企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	2	127	14	12	867	56	2	116	11	6	373	26	4	204	20	6	234	33
	市外	3	261	19	9	659	43	1	27	3	4	241	15	2	108	5	3	337	15
中学校	市内	2	15	6	2	25	8	2	15	4	2	15	4	6	49	20	6	49	20
	市外	3	43	5	3	41	9	16	266	32	15	251	29	8	117	11	9	138	23
高等学校		0	0	0	2	32	18	2	20	10	2	20	10	0	0	0	3	37	16
計		10	446	44	28	1,624	134	23	444	60	29	900	84	20	478	56	27	795	107

(2)貸出施設

●市民アートギャラリー

	R6 年度			R5 年度			R4 年度		
月	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数
4 月	25	5	2,231	12	2	602	12	2	744
5 月	29	5	2,166	24	4	1,983	24	4	2,015
6 月	22	4	1,686	5	1	223	18	3	1,380
7 月	19	4	2,440	21	4	2,146	24	4	2,514
8 月	24	4	1,926	30	6	3,660	23	6	2,198
9 月	24	7	2,769	23	6	3,351	17	5	1,826
10 月	23	4	2,154	26	5	2,961	19	3	1,971
11 月	25	5	5,125	21	6	4,970	28	7	4,811
12 月	12	4	1,146	12	3	1,463	12	3	1,086
1 月	24	5	5,112	26	5	5,975	25	6	6,345
2 月	10	3	2120	16	5	1,426	12	3	1,642
3 月	31	3	2171	27	3	2,957	30	4	2,763
計	268	53	31,046	243	50	31,717	244	50	29,295

●ミュージアムホール

	R6 年度			R5 年度			R4 年度		
月	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	1	1	80	3	3	220	2	2	95
5月	0	0	0	0	0	0	1	1	35
6月	3	3	300	3	3	232	4	5	235
7月	2	2	144	2	2	117	3	3	108
8月	1	1	31	3	3	230	2	2	154
9月	5	4	299	5	2	286	6	6	176
10月	3	3	165	5	4	296	2	2	98
11月	7	7	581	2	2	130	2	2	80
12月	10	10	480	7	5	340	5	5	270
1月	5	5	343	12	12	689	5	5	149
2月	8	7	337	5	5	323	4	4	116
3月	5	5	375	11	10	750	7	7	378
計	50	48	3135	58	51	3,613	43	44	1,892

●アトリエ

	R6 年度			R5 年度			R4 年度		
月	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	3	3	65	8	8	80	4	4	41
5月	1	1	117	6	6	131	1	1	4
6月	3	3	39	4	4	41	5	7	76
7月	3	3	27	2	2	24	3	3	35
8月	3	3	52	3	3	48	3	3	51
9月	6	6	84	3	3	28	2	3	26
10月	7	7	88	3	4	264	6	6	102
11月	3	4	256	3	3	35	3	3	33
12月	3	3	34	1	1	11	2	2	27
1月	12	4	222	3	3	422	8	2	298
2月	3	3	30	3	3	40	4	4	50
3月	3	3	26	2	2	18	0	0	0
計	50	43	1040	41	42	1,142	41	38	743

令和6年度 平塚市美術館年報

発行年月 : 2025 年 10 月

編集・発行 : 平塚市美術館

〒254-0073

神奈川県平塚市西八幡 1-3-3

TEL 0463-35-2111

<https://www.city.hiratsuska.kanagawa.jp/art-muse/>